

青年部会

土岐紅陵高等学校 模擬面接

●令和5年8月29日(火)・30日(水)・31日(木)・9月1日(金)

支部ごとに1日3名(延べ12名)の部会員が、ひとりにつき2～3名の生徒に本番さながらに面接指導を行いました。今年で5年目になります。



土岐商業高等学校 模擬面接

●令和5年9月4日(月)・5日(火)・6日(水)・7日(木)

支部ごとに1日4名(延べ16名)の部会員が、ひとりにつき2～3名の生徒に本番さながらに面接指導を行いました。今年で26年目になります。



岐阜県下法人会青年部会連絡協議会

●令和5年10月4日(水)

中津川法人会の主管でパーティールAIにて行われました。

テーマ 『健康から学ぶ税と経営』

多治見法人会による租税教育活動プレゼンテーション事前発表

講演会 演題 「企業と健康経営」

講師 大塚製薬(株)ニュートラシューティカルズ事業部名古屋支店
ソーシャルヘルス・リレーション担当部長 伊藤 謙吾 氏



租税教育活動プレゼンテーションをする土本委員長



講演会講師 伊藤 謙吾 氏

第37回 全国青年の集い「山形大会」

●令和5年11月9日(木)・10日(金)

大会スローガン：為せば成る！～感謝と恩返しの想いを胸に～

記念講演 演題 『自らがリスクを取って挑戦する。だからこそ価値がある。』

講師 山中 大介 氏

11月9日から10日に開催されました全国青年の集い山形大会に、伊藤部会長ら14名で参加してまいりました。9日に行われた租税教育活動プレゼンテーションでは、我が多治見法人会が名古屋局連を代表して、全国の会員に向けて発表しました。この発表のために4年前より委員会を発足し準備してきましたが、当日の発表では、全国でも類を見ない独創的な高校生向け租税教室を紹介することで、全国の会員の皆様に、租税教育活動を新しい視点でとらえ、また、その内容に共感を得てもらうことができたのではないかと感じています。コロナ禍に翻弄された委員会ですが、3期にわたり多くの部会員が、全国での発表という一つの目的のために協力し活動を継続してきたことが、部会員の交流を深め、活動の充実の一助となれば幸いです。最後に委員長として関わっていただいた皆様に感謝申し上げ、集大成となる山形大会の訪問が素晴らしいものであったことを報告します。(株)三共不動産 土本 浩義



尾道法人会青年部会との交流会

●令和5年11月10日(金) ●山形市内ひつじ苑

全国青年の集い山形大会において、尾道法人会青年部会との交流会を行いました。昭和63年から始まるこの交流会も今年で35年の節目を迎えました。

全国で11法人会だけが発表する「租税教育活動プレゼンテーション」を両法人会が今年行うという奇跡的な年でした。ブース設営も行っており、発表前にはブースでエールを交換し、発表本番へ臨みました。交流会は発表後という事もあり、近況報告に加え、租税教室活動に対する意見や会員拡大など法人会活動における悩みなど様々な意見交換が行われました。

先輩諸兄が育まれた35年という歴史と素晴らしいご縁を大切にしていける事を確認し、来年の福井大会での再会を約束しました。(平和コーポレーション(株) 山田和洋)



第37回 全国青年の集い山形大会租税教育活動プレゼンテーション報告会及び部会員交流会

●令和5年11月30日(木) ●アンジェミエル ●参加者42名

土岐支部が企画した事業で、山形大会租税教育活動プレゼンテーション報告会と部会員の交流を深める会を行いました。委員会発足から山形大会での発表までの記録をパワーポイントで紹介、当日の発表を実際に行い足掛け5年に及んだ活動をふりかえりました。その後、食事をとりながら交流会へ。席はくじ引きで支部の垣根をとり、初めて顔をあわせる人とも横のつながりが広がる楽しい会になりました。



女性部会

第42回岐阜県下法人会女性部会連絡協議会

●令和5年10月12日(木) ●岐阜グランドホテル ●参加者11名

第42回岐阜県下法人会女性部会連絡協議会(飛騨法人会主管)に参加しました。

テーマは「アフターコロナにおける女性部会活動の活性化に向けて」。

10テーブルに分かれたグループディスカッションで、各単位会がいろいろな問題や実際に有効な事例を発表し、今後の活動活性化にむけた指針を確認しました。

記念講演は飛騨法人会女性部会員である森本富美子氏が「心がしゃんとする津軽三味線の響き」と題して、踊りと演奏を披露されました。

